

平成28年度 第38回伝統庭技研修会のご案内

伝統庭技研修会は毎年京都で開催されており、これまでも地元の学者や造園家等を講師に招き、伝統的な技術・技能に裏打ちされた名園の解説・紹介等の座学と非公開庭園など名園見学を実施し、多くの実績を残してきました。

本年は、建仁寺の開館前に、潮音庭、方丈の庭などを会員だけで特別に見学できる機会を得ました。また、建仁寺の塔頭の両足院、正伝永源院についても特別開館にて、庭園やお茶室、所蔵品を見学いたします。午後には、高台寺や円徳院の江戸初期の庭園の見学も組み入れています。この機会に是非、伝統庭技研修会にご参加下さい。

開 催 要 領

- 日 程 平成28年12月1日(木)～2日(金)
- 会 場 講 義：梅小路公園 緑の館 1階イベント室
見 学：建仁寺(時間外特別開館)、両足院(特別開館)、正伝永源院(茶室如庵見学)
高台寺、円徳院
- テ ー マ 現代人の心に響く日本庭園の魅力を探る
- 講義内容等(講師及び見学先の都合により若干変更することがあります)

	12:00～12:45	受付後、梅小路公園「朱雀の庭」の視察(40分)
12/1 (木) [座学]	12:45～	歓迎・開講の挨拶 (一財)日本造園修景協会 会長 伊藤 英昌
	13:00～14:00	基調講演：「日本庭園のデザイン特性と空間構成の技法」 「造園の手引き」の主筆者 吉田 昌弘
	14:00～15:00	講義：「石の魅力とその事例」 造園用石材卸商 (株)北山都乾園 第5代当主 北山 利通
	15:05～16:05	講義：「アメリカの雑誌で人気 No.1 の日本庭園である足立美術館庭園の管理に携わって」(株)小島庭園工務所 第7代当主 小島 裕史
	16:05～17:05	講義：「日本庭園の楽しみ方」 学術博士、京都造形芸術大学非常勤講師 町田 香
	17:05～	京都府支部長あいさつと事務連絡
交流会	17:30～19:30	【希望者のみ】京野菜レストラン梅小路公園(イベント室)会費：3000円/人
12/2 (金) [庭園見学]	9:00～10:20	建仁寺(時間外特別開館)庭園の解説と「方丈の庭」、「大雄苑」、本坊の「潮音庭」、東陽坊 他
	10:30～11:10	建仁寺の塔頭 両足院 庭園と茶室の見学
	11:10～12:20	建仁寺の塔頭 正伝永源院 庭園、茶室、寺宝の見学
	12:20～13:00	[昼食]高台寺教化ホール
	13:00～14:20	梅小路公園「景をつくる(朱雀の庭の整備経過)」映像解説。 高台寺の拝観と二年坂、三年坂、ねねの道視察。
	14:30～15:30	円徳院
	15:30	終了挨拶 (一財)日本造園修景協会 京都府支部

- 募集人員 60名 (先着順)
- 参加費(受講料、講義要録、見学料は含まれておりますが、旅費、食費等は含まれておりません)
修景協会・公園管理運営士会(H24.4.1以降の入会者)の会員 28,000円(非会員32,000円)
- 振込先 振込 ゆうちょ銀行 四四八(読み ヨンヨンハチ)普通預金 4971214
口座名義 一般財団法人日本造園修景協会 京都府支部
ザイ)ニホンゾウエンシュウケイキョウカイ キョウトフシブ
- 申し込み 裏面の参加申込書又は当協会のホームページから申込書を印刷して必要事項を記入し、参加費をお支払手続の上、参加証を返信するための返信先を記入した封筒を同封して(一財)日本造園修景協会京都府支部伝統庭技研修会事務局までお送りください。(参加申込書はコピーでも可)
- 締切日 10月31日(月)

※この研修は、造園CPD制度の対象(申請中9.8ポイントの見込み)となります。

※研修会場、現地見学(集合場所、時間)等詳細は参加者へご案内いたします。

※庭園見学のための参加はできません。例年11月末から12初旬は京都の観光シーズンになります。旅館・ホテル等の予約は早めをお願いします。当協会でもある程度確保しておりますので、ご希望の方は参加申し込みの際、一緒にお申込み下さい。

主催 (一財)日本造園修景協会(仮称・日本造園家協会)、共催 (一財)日本造園修景協会京都府支部

後援 (一財)公園財団、(公社)日本造園学会、(一社)日本公園緑地協会、(一社)日本造園建設業協会

(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、公園管理運営士会

平成 28 年度 第 38 回伝統庭技研修会 参加申込書

●受講者

ふりがな 氏名		TEL () -	
現住所	〒		
勤務先 (勤務先へ送付希望の場合にご記入ください)			
名称		所属	
所在地	〒		TEL () -
造園 CPD 番号 [12 桁] (登録希望の場合のみ記入)		交流会 (参加費 3,000 円)	参加する ・ 参加しない
通信欄	◎請求書・領収書等のご要望など、何かありましたらご記入下さい。		

上記のとおり平成 28 年度第 38 回伝統庭技研修会に参加したいので、

参加費 会 員 [¥28,000] 【 修景協会 ・ 公園管理運営士会 】 (○で囲んで下さい)
非会員 [¥32,000]

金 円をゆうちょ銀行に振込み手続きの上、申し込みます。

●宿泊申込

下記のホテルをご用意いたしました。ご希望の方は喫煙室・禁煙室を通信欄で○印を付けて下さい

※11/30(水)、12/2(金)については多少用意があります。通信欄にその旨お書き下さい。

※料金は当日ホテルにて各自お支払いください。

※数に限りがありますので、申し込み順に決めさせていただきます。

12/1 (木)	エルイン京都 (〒601-8004 京都市南区東九条東山王町 13 TEL:075-672-1100) (素泊り 朝食 1,000 円/人)
宿泊希望	シングル 9,300 円 (税込) を希望する・宿泊は希望しない(○で囲んで下さい)
通信欄	禁煙室希望 ・ 喫煙室希望 ・ どちらでもよい(○で囲んで下さい) 前泊 11/30 を希望 ・ 後泊 12/2 を希望 (○で囲んで下さい) その他

※参加証送付先を記入した封筒を同封して下さい。

----- 切り取らないで下さい -----

参 加 証

No.	参加者名 (記 入)
-----	---------------

上記の者は平成 28 年度第 38 回伝統庭技研修会の参加者であることを証します。

本年より問い合わせ先を変更しました。

(申込先、お問い合わせ先) 〒605-0071 京都市東山区円山町 463 (公財) 京都市都市緑化協会内
TEL 075-561-1350 / FAX 075-561-1675 / mail dentou@kyoto-ga.jp
(一財) 日本造園修景協会京都府支部 伝統庭技研修会事務局

○参加証No.で出欠を確認しますので、第 1 日目の開講前に受付へ番号をお申し出下さい。

○修了証は、最終日にお渡し致します。

建仁寺 機関紙:「京のみどり」の庭園紹介から抜粋

建仁寺は、宋から帰国した栄西禅師が開山した京都最古の禅宗寺院で、開山の鎌倉時代・建仁二年（1202）が寺名の由来となっています。重要文化財である方丈は、昭和九年の室戸台風で倒壊、その六年後に庭師・加藤熊吉により枯山水式庭園として作庭されたものです。「大雄苑」と命名されたこの庭は、左手には中央に寄りかかるような力強いラインを見せる三巨石が、右手の大らかな二石と視界の外れにある石塔まで氣勢を押し込むように立っています。石組を中心としたそれぞれの景は素晴らしく、広縁に座り、じっくりと対峙して楽しむことができます。大海を二度渡るという大変な修行の後、中国・百丈山を模して建仁寺を造営されたという栄西禅師の世界を表現しているように見えます。

庭全体を眺めてみると、建物や土塀の屋根のラインも、この空間を構成する大きな要素となっていて、クロマツの幹や枝、石組を包み込む低木の形や足元の苔のムクリまでもが、この空間を作り上げるように育成されています。白川砂の砂紋と同じように、細部にまで禅の心が行き届いています。

西南隅にある七層の石塔は、織田有楽斎が兄・信長を弔うために建立したものと伝えられており、手前の石組や背後の樹林と合わせて見事な景を創り出しています。白砂で表した大海の中に石塔が浮かんで見えるようです。簡素でありながら強靱な意志を感じる美しい庭であり、明治から昭和の初期を代表する庭師・加藤熊吉の力量がひしひしと伝わってきます。

中庭には、四方から眺めることのできる三尊石にモミジやドウダンツツジを配した「潮音庭」などの現代の庭師・北山安夫が作庭した庭も見学できます。歴史を感じさせる建物群とともに、静寂な空間に身を置き禅の心に触れることのできる貴重な空間です。



「方丈から眺める石組の景（大雄苑）」



「石塔と周囲とが調和してつくられた景（大雄苑）」



「四方から鑑賞できる潮音庭」



「〇△□の庭」